

様式10

令和元年度（2019年度） 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	みのお市民活動センター
指定管理者	特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお
指定期間	平成27年4月1日～平成32年（令和2年）3月31日
施設概要	非営利公益市民活動の促進を目的とする。 会議用施設（会議室等）や活動用施設（事務ブース、ロッカー等）の貸し出しや、市民活動促進のための各種事業を実施する。
市支出額	指定管理委託料…26,998,000円（うち2,500,000円は支援金原資） キューズモール施設借上料…28,259,280円 キューズモール施設共益費…5,651,856円

2. 事業の実施状況

情報収集及び提供に関すること	ホームページの管理・運営等情報の収集・発信（随時）、ニュースレターの発行（年2回）、グループガイドの発行（隔年）
講座の開催、その他啓発に関すること	NPOフェスタ（年1回）、スキルアップ講座（年6回）、施設を活用した啓発・交流促進（随時）
相談に関すること	各種専門家相談（年2回）、一般相談（随時）
交流の促進に関すること	利用者協議会の開催（年1回）、子育て支援ネットワーク、大学連携交流促進事業（年1回）
調査・研究事業	ポータルサイト研究会、市民活動の具体事例の収集
支援に関すること	市民活動支援金募集・審査・交付、報告会の実施（各年1回）、交付後のサポート（専門家コンサルティングの提供）等
場所及び施設の提供に関すること及びセンター施設の利用に関すること	開館時間：午前9時～午後10時 休館日：12月29日～1月3日
その他施設を活用した市民サービス等	①証明書発行業務（火曜～日曜日、午前10時～午後5時受付。印鑑登録証明、住民票の写し、住民票記載事項証明、課税証明。年間716件発行） ②期日前投票所会場提供（11日間） ③箕面市後援プロ野球ファーム戦チケット販売
情報収集・提供（自主事業）	メールニュースの配信（2種・月2回程度）、ホームページの管理・運営（随時）、ボランティア情報サイトの管理・運営（月1回更新）
団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援（自主事業）	活動・情報の交流会等の支援（まんどろ火祭り等）
市民活動に関する人材育成（自主事業）	①出会いの広場事業（活動紹介窓口の設置）、②ボランティア・実習生受入、③高校啓発事業（週1回程度）、④DIY講座（1回）、等
市民活動を促進するための社会的な環境の整備（自主事業）	団体との連携（実行委員会等参画）、ネットワーク構築（「もっとネット会議」等）

その他の自主事業	①来館啓発及び表現活動の場の提供（ほっとコンサート：年3回、箕面在住アーティスト展：年1回）、②中間支援組織の研修、③震災復興支援活動、④防災イベント（年1回）
----------	--

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	297人中、男性23.9%、女性74.7%。70歳以上が最多で44%超を占める。「趣味の活動」が最多（80人）であるが、「ボランティア活動」も一定の数（36人）を占める。全ての項目で「満足」が多数で、「総合的な印象」が「期待はずれ」は0人となっている。
------------	--

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	12人の参加があり、先行予約等の優遇を求める意見、施設利用希望者が多いため予約が取りにくいという意見、施設の利用ルールに関する質問、備品の更新の要望等があり、質問についてはその場で回答した。また交流機会を求める意見もあった。
------------	--

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	定例的な意見聴取の場の他に、窓口等でも随時利用者の声を聞き、定期的で開催している事務局内会議でスタッフ間共有を行い、対策を検討している。
-----------	--

4. 収支状況

指定管理者である法人全体としては経常収益30,417,712円（前年度比約100.9%）に対し経常費用29,531,309円（前年度比約101.5%）となった。単年度の収支差額は経常収益の約2.9%にあたる886,403円であり、次期繰越金は同じく約8.0%にあたる2,432,961円となり、一時期の赤字状態を脱している。
--

5. 特別提案の状況

(なし)	
------	--

6. 指定管理者の自己評価

2018年度には大阪北部地震の発生により、防煙垂壁の破損・落下などの被害があり、建物の安全確認のため5日間の臨時休館を余儀なくされたものの、会議用施設稼働率は年度を通じて64.6%とこれまでの最高値を更新することができた。

事業としては、大阪大学外国語学部との共催事業「阪大外国語学部×みのお市民活動センター マンスリー多文化サロン」がはじまり、センターに来られるかたの層を広げることができた。また市民活動団体「箕面おやこで鑑賞ひろげ隊ぽんぽん」と共催する「ぽんぽんファミリーひろば」も年度途中から毎月開催を続けている。毎月の催しの場となることで来場者の層が広がることもあるが、ボランティアの受け皿となることで市民の参加をすすめることにも貢献することができた。指定管理者の自主事業として運営しているボランティア情報サイト「v-info」とも効果的な連携を行なえた。

講座では、スキルアップ講座として事業計画書の作成、NPOの収入構造、評価、SNSといったテーマで開催した。受講者はやや少数にとどまったものの、夢の実支援金の申請団体など具体的に姿の見えている団体の伴走支援となるよう企画・実施した。また市民社会講座として、次年度以降への布石として、公共空間の活用を考える講座も開催した。その他自主事業講座の位置づけで、関心の高まっているSDGsを学ぶ講座も開催し、比較的多くの参加を得ることができた。その他「アクティブ・ブック・ダイアログ」という手法を取り入れた新しい形の読書会を開催するなど、新たな手法の開発を進めた。またNPO法20周年を機に開催された学習会にも他市の支援センターと共に取り組み、ネットワークを強化すると共に今後のNPO支援にとって重要な視点を学んだ。

アンケートでは、「備品の充実度」について297人中4人のかたが「不満足」を回答された。自由記述では、具体的に大型ディスプレイTVの更新が要望されていた。高額な備品であるため指定管理者として新機種を購入することは難しいが、新しい規格に対応する備品への要望を感じた。

アンケートの回答者は「趣味の活動」で利用するかたが多くなっている（80人）が、施設趣旨である非営利公益市民活動の促進に向け、NPO活動・ボランティア活動が一部の人々に閉じたものにならないよう、今後も工夫を続けたい。